

上腕骨遠位端の形状とロッキングプレートに関する研究

1. 研究の対象

学生解剖実習用献体（40 体）を対象（2023 年 4 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日までに本学にご提供された献体）

2. 研究期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

3. 研究目的・方法

目的：本研究の目的は、上腕骨遠位端とロッキングプレートの解剖学的な「骨性指標」と「位置情報」を 3D イメージ上で明らかにし、この情報を基に 3D 生体モデルを用いてより正確で再現性のある観血的整復固定術の術式を開発し、上腕骨遠位端骨折の治療成績を向上させることです。

方法：学生解剖実習用献体の上腕骨遠位端を剖出します。骨形状を観察してマーキングし Autopsy imaging (Ai) 用の CT スキャナーで撮像します。上腕骨遠位端とロッキングプレートの 3D モデルを構築、CAD 用ソフトウェアを用いた計測を行います。

- 1) 上腕骨遠位端の特徴的な骨形状「骨性指標」の解析
- 2) 骨とプレートの接触面積、骨上のプレート位置といった 2 次元・3 次元上の「位置情報」の解析

4. 研究に用いる試料・情報

試料：学生解剖用実習用献体（40 体）の上腕骨等

情報：献体の生前の情報（性別、年齢、病歴、身体所見）

なお、上記の資料・情報については、研究対象者のデータや検体から氏名等の特定の個人を識別することができる記述を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて加工を行う。研究対象者とその符号（番号）を結びつける情報（表）を岩手医科大学で作成し、個人情報管理者は外部に漏れないように厳重に保管する。研究終了後は速やかに破棄する。

5. 研究費および利益相反

研究者は本研究に関係して研究費及び企業等から個人的・大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありません。

6. 研究結果の公表

研究に関わるいかなる者も、本研究にて得られた成績等に関し守秘義務を有する。その成績との公表（学会発表を含む）においては、事前にその内容等を実施責任医師の承諾を得るものとする。公表に際しては、献体登録者のプライバシーが保護されるように配慮し、また、この研究全体の結果の評価に関しては症例検討会での評価のない限り公表しないものとする。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも献体登録者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

(住所) 〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号

(電話) 代表 019-613-7111 FAX 907-2399

内線整形外科医局 6562 (所属・氏名) 整形外科学講座・佐藤 光太郎

研究責任者：

岩手医科大学整形外科学講座 佐藤 光太郎

-----以上